

- iPad
- ロイロノート

<単元・題材名等>

ときどき わくわく まちたんけん

ねらい

探検で見付けたことをまとめて作成したデジタルマップを見ながら、自分たちが見付けたことや気付いたことを伝え合う活動を通して、校区内の様々な場所や人の存在に気づき、自分の生活で今後してみたいことや行ってみたい場所について、話したり書いたりすることができる。

主なICTの活用方法

- ・ ロイロノートの中に、デジタルマップを作る。(児童が作成した「見つけたよカード」を貼り付ける。)
- ・ 作ったデジタルマップを活用して、校区にある場所や人についてまとめる。(資料にする)
- ・ 発表の際にどこの部分の話をしているのか、相手に提示しながら話すためのツールとする。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ ICTを活用して、資料を作成することができる。
- ・ ICTを活用して、資料の中から必要な情報を取捨選択することができる。
- ・ ICTを活用して、根拠を示しながら説明することができる。

実践の概要

本実践では、「ICTを活用して①資料を作る・使う②自分の考えを伝える」の2点をポイントにして指導する。

第1・2次 「ICTを活用して資料を作る・使う」

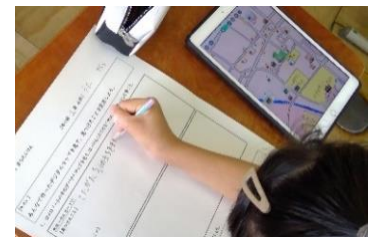
- ① 「Google マップ」を使って町の様子を見る。
- ②～④ 探検の計画に基づいて町を探検し、お気に入りの場所を iPad のカメラを使って撮影する。
- ⑤ 自分たちが歩いた道路に撮った写真を貼り付ける。(ロイロノート・デジタルマップ)
- ⑥・⑦ 自分が知らせたいと思う「お気に入り見つけたよカード」を作る。(ロイロノート)

第3次 「ICTを活用してまとめる・伝える」

- ⑧・⑨ 「見つけたよカード」を校区の地図に貼り付ける。(ロイロノート)
 - ⑩(本時) みんなで作ったデジタルマップを見て、自分たちが住む地域の場所や人を確認し、どんなことを見付けたか伝え合う。(ロイロノート)
- ↓
- 「使う」 → みんなで作ったデジタルマップを見て、校区の町の特徴を見付ける。
- 「伝える」 → デジタルマップで、マークをしたり、指し示したりしながら伝える。

児童の学びの様子

- デジタルマップ上に貼られた「見つけたよカード」をピンチアウト、ドラック&ドロップしながら読み取り、端末内にある自分のカードと比較しながら、見つけたことをプリントに書き込んだ。
- 同じ場所にクリップされた複数の「見つけたよカード」をカテゴリー別に整理し、選択して読み取ることができた。
- 仲間に伝えたい「大発見」がある場所を丸で囲んでマーキングしたり、ピンチアウトしたりして、強調することができた。
- 交流では、強調したい場所を指し示しながら伝えることができた。聞き手は、自分が発見した内容を付け加えながら、意見を述べることもできた。



指導のポイント

- 手書きの地図とデジタルコンテンツ(写真、地図アプリ)を透過させて、デジタルマップを作成する。
- 伝えたいポイントを強調できるように、ピンチアウトやマーキングを行うように助言する。

